

構内でのスポーツ活動の段階的な再開に向けた基本計画

(2020年6月11日改訂) 第三段階6/15(月)～6/18(木)

学内外での運動クラブの活動は、引き続き6/18(木)まで禁止されています

(2020年6月11日作成)

利用対象者と条件

- ①利用者本人(学生)自身に利用の意思があること(強制的な参加ではないこと)
- ②事前に所属運動クラブ指導者(本学教職員、非常勤職員は除く)の許可を得た本学の運動クラブ所属の学生・大学院生
- ③6/14(日)迄の2週間、体調チェック(※)で問題が無く、6/8(月)～15(月)の間、一部の首都圏(埼玉・千葉・東京・神奈川)ならびに北海道から大阪府内までの移動歴がないこと。
- ④6/14(日)までの2週間、**体調チェック(※)**で問題が無いこと
※体調チェックは、以下の1)～5)のいずれも該当しないことが条件です。
1) 平熱を超える発熱(37.5℃以上) 2) 咳(せき)、のどの痛みなどの風邪の症状
3) だるさ(倦怠感) 息苦しさ(呼吸困難) 4) 嗅覚や味覚の異常
5) 体が重く感じる、疲れやすい等 (日々の検温を必ずしてください)
- ⑤6/7(日)～14(日)まで、濃厚接触※歴のある方との面会がないこと
※「濃厚接触」とは、コロナ患者に発症2日前から「距離1m以内・マスク無し・会話15分以上」で接触した場合を指す(国立感染症研究所、2020年4月20日付で変更)
- ⑥学生証・個人用チェックシートを必携、通学、構内ではマスクを着用すること
- ⑦利用前や活動開始毎に、**検温チェック(※)**を受け、検温時37.5℃未満であること
(※検温は本人が行うことなく、他者が行うこと)
- ⑧キャンパス内の使用ルールや本学が求める感染拡大防止の趣旨に賛同、その施策に全面的に協力、遵守すること
- ⑨運動クラブ指導者(部長・監督・コーチなど)の指導や管理事項を遵守すること
- ⑩活動前・中・後の感染予防の清掃・消毒を徹底、個人の手洗・手指消毒等も終始実施すること
- ⑪大きな声や集まってきたの会話を避け、施設利用が済めば、速やかに帰宅すること(利用前後の滞在時間を短くすること)

マスク着用にご協力ください



⑫キャンパス内の移動(スポーツ活動時は除く)及び大学往来時には、マスクまたはそれに代わるものを必ず着用、それを徹底すること(6/1～6/10の状況ではマスク着用)の徹底が不十分です。引き続き、自身と他者への感染防止に取り組んでください!

施設利用者数、利用日時帯

- 施設毎の利用者数の上限は設けません。ただし、施設利用者の利用状況(利用者、利用スケジュール、活動内容、利用中のソーシャルディスタンスの保持等)についての明示と厳守が必要です。(月～金) 7:30～8:30、16:30～**21:00** (土・日) 9:00～15:00
※利用時間の前後1時間以内は、準備や撤収に使用可能です。

- ✓「構内でのスポーツ活動の段階的な再開に向けた基本計画」にもとづき、運動クラブ、学生のみさんの理解と協力を得て、構内のスポーツ施設の段階的な利用に着手しております。
- ✓6/19(金)からの「対面授業開始」に向け、「クラブ活動の再開」ではなく「安心安全な構内のスポーツ環境の整備」と「段階的な利用措置の緩和」を進めております。

※6/19(金)以降の措置や大学の活動状況等は、現在、検討中で未定です。対策本部の方針が確定次第、速やかに通知させていただきます。

！ 利用手続きや利用にあたっての留意点など

- 利用申請は教職員(※)である部長・監督・スタッフのいずれかが「対策本部クラブ関係担当」(coronavirus.taskforce.for.club.users@ouhs.ac.jp)宛に行い、利用時の立会も必須です(学生だけの活動は認めません。OBOG、非常勤教職員も引き続き、立会者の対象外となります)。※S&C、ATの両ルームは、同スタッフが常駐の為、クラブスタッフの立会は不要です。※S&C、ATの両ルームの申込は、別途、スポーツ科学センターからの案内に従い行ってください。
- 活動途中のメンバー変更はできません(寮で共同生活などを行っている場合はそのメンバー内でグループを構成してください)。
- 活動中は2m以上を保持してください(屋外活動も利用する個人・団体間で2m以上の間隔を保持し続けること)。
- 6/15(月)から施設毎の利用者数の制限はありません。ただし、キャンパスを共用する併設校の浪商生の通学、クラブ活動も再開されます。施設内での三密の回避と、ソーシャルディスタンスの保持の具体的方法を、予め施設の共用者間で必ず事前調整の上、申請する活動内容で明示してください。申請内容によっては、利用を認めない可能性があります。
- 利用内容は、引き続き、不活動状態からの運動再開、暑熱対策等の観点から個人練習のスタンスを継続し、段階的な運動レベル(強度・時間・頻度)向上の観点で、クラブごとに安心安全に十分配慮して行ってください。用具を用いた活動も感染リスクを考慮し、段階的に進めても結構です。
- 補助が必要なトレーニングは、引き続き、行わないでください。



- ウェア、タオル、靴、ボトル、石鹸、デオドラント等は、他人と共有せず、個人所有物をその人だけで使用してください。
- 施設毎の個別更衣室等は、クラブごとに立案した感染防止策に基づき使用を認めます(利用時の密集・密閉・密接を最大限回避し、更衣前後の滞留時間を最小限にする)。
- 機器や設備・用具を共有する場合は、それらの消毒と手指等をこまめに洗ってください。
- 床の消毒が必要な施設は、感染リスクに応じて対応してください。
- 活動や施設利用で必要になる消毒やその為に必要な資器材は、各利用クラブで確保ください。

ひとり一人の健康管理に留意し、安心安全なスポーツ活動環境を、みんなで作っていきましょう!



大阪体育大学

OSAKA UNIVERSITY OF
HEALTH AND SPORT SCIENCES

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をおねがいします

3つの「密」を避けましょう!

①換気の悪い
密閉空間



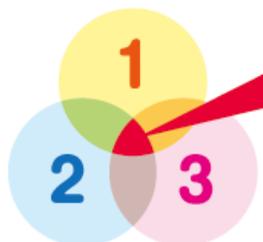
②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面

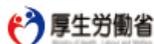
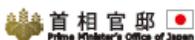


新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。
日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。



3つの条件がそろう場所が
クラスター(集団)発生の
リスクが高い!

※3つの条件のほか、共同で使う物品には
消毒などを行ってください。



厚生省 コロナ 検索



感染症対策へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、
「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い

正しい手の洗い方

手のひらの間に
爪は短く切っておきましょう
時計や指輪は外しておきましょう



① 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

② 手の甲をのぼすようにこすります。

③ 指先・爪の間を念入りこすります。



④ 指の間を洗います。



⑤ 親指と手のひらをねじり洗います。



⑥ 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など
人が集まる場所でやろう



何もせずに
咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを
手でかさえる

マスクを着用する
(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

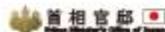
正しいマスクの着用



① 鼻と口の両方を
確実に覆う

② ゴムのちを
耳にかける

③ 隙間がないよう
鼻まで覆う



厚生省 コロナ 検索

